

## 寛聚院見学

宮坂幸夫先生

実施日：令和3年6月22日（火）



第7回目は、寛聚院を管理されている宮坂幸夫先生にご講義いただいた。寛聚院は、五無斎保科百助先生が下宿をしていた場所で、外観や庭には趣のある雰囲気漂っていた。先生の下宿生活の様子や、自詠の歌を紹介していただいた。

また、宮坂先生が行っている農村体験の受け入れや、自給自足の生活についてお話を頂戴した。自作のお米や味噌も紹介していただき、農業の楽しさや人とのつながりについても語っていただいた。その他、高校生へのメッセージとして、「自分の意見を主張すること」や「時間を有意義に使うこと」を伝えてくださった。

## 【生徒の授業日誌より】

・とても情熱的で面白く、人思いな先生だった。おかきがとてもおいしかった。自給自足をしているのがすごいと思った。とても充実した人生を過ごしていると思った。

・とてもおもしろくて、自分の筋をちゃんと持っているすばらしい人だと思いました。人生は一度きり、主役は自分。他人に流されず楽しく生きていこうと思いました。

・今回は宮坂さんの経験をすべて話してくれた感じがしました。宮坂さんはとても熱い人でした。食べ物おいしかったです。

・宮坂さんのお話はとてもおもしろくて最高でした。

・五無斎先生が寛聚院で下宿生活をしていたことや、豆腐を好んで食べていたことなど、宮坂さん自身の体験を含めながら話をしてくれたので、楽しく講話を聞くことができた。おやつもただけて、凄くうれしそうに話してくれて良かった。

・歩いて寛聚院まで行って、学校から近くにあったのでびっくりした。中に入ると部屋がたくさんあって、広かった。下宿した場所がどんなところか知れてよかった。

・学校の近くにこんなにも良い場所があったことにびっくりしました。お金はほとんど使わないことや米や野菜を自分で作っていることを聞き、すごいなと思いました。手作りの料理を見せてもらって、どれもすごくおいしそうで食べてみたいと思いました。

・宮坂さんの話はとてもおもしろかったです。米を作って、さらに大豆から味噌まで作っていてすごいと思いました。人生で役に立つ話もたくさん聞けました。